



くらす たのしむ

将来の家庭生活の
充実を目指して

～寄宿舍の役割～

本校寄宿舍は、児童生徒の通学保障や生活力の向上を目的として、現在及び将来の家庭生活の充実につながる支援を行っています。



育てたい3つの柱

① 基本的な生活習慣

掃除、洗濯など自分の身の回りに関する日常生活の基本的な技能や態度

② コミュニケーション

集団生活において他者との関わりを通して、話を聞いたり、自分の意思を伝えたりする力

③ 社会参加、余暇

家庭や地域において、自分で楽しみを見つけて、生活を豊かにしていく力

一人一人に応じた支援

個別活動

グループ活動

全体活動

これら3つの活動を効果的に取り入れながら、一人一人に応じた支援を行い、「くらす」「たのしむ」の充実を目指していきます。

個別活動



掃除・洗濯



学習

グループ活動



外出活動



放課後活動



自立宿泊体験

全体活動



ひまわり祭



避難訓練



クリスマス会

日 課

14:30	小学部下校
14:50	中学部下校
15:00	高等部下校 おやつ 入浴 自由時間
17:45	夕食
18:30	学習時間
19:00	自由時間 入浴（自立）
21:00	小学部就寝
22:00	中学部・高等部就寝

6:30	起床
7:45	朝食
8:50	高等部登校
9:00	小学部・中学部登校



施設設備

食堂



寄宿舎での朝食・夕食は、食堂で一斉にいただきます。
食事はみなさん楽しみにしているもののひとつです。

舎室



舎生の実態や特性に応じて、ひと部屋あたり
1人～3人前後の部屋割りをしています。

浴室



入浴時間は日課の中に設定されています。
夕方の時間を中心に、複数名で入浴をしています。

多目的室



各棟に多目的室があります。
余暇時間や学習時間を一緒に過ごします。

入舎を検討している方へ

入舎理由について

以下の3つのいずれかを入舎理由として、受け入れを行っています。

- 遠距離（自宅から学校までの距離がおおむね30km以上、公共交通機関がない等）
- 生活力や社会性の向上
- 家庭の事情（要相談）

入舎条件について

入舎を希望するにあたっては、以下の内容に当てはまるかどうかを確認してください。

	本人、保護者ともに入舎を希望しています
	集団生活において、常にマンツーマン対応の必要はありません
	医療的ケアの必要がありません
	てんかん等の発作がありますが、服薬等により状態が落ち着いています
	24:00～6:00において、添い寝、服薬薬など常時支援は必要ありません
	体調不良や急病、事故などの救急時は、夜間でも確実に連絡が取れ、迎えに来ることができます。 (救急車対応になった場合は、すぐに病院に行くことができます)

職員体制について

- 1日あたり3人の職員と舎監(学校職員)1人で宿直勤務を行います。
- 看護師などの医療スタッフは、配置されていません。

体調不良や怪我などが生じた場合は、保護者連絡を行うので、迎えをお願いします。

宿泊数・宿泊曜日について

- 寄宿舍の利用予定については、前の月の中旬までに本人、保護者、寄宿舍で相談して決定します。
- 宿泊数：全泊（月～木泊）または週2日以上を原則としています。
ただし、週2泊以上の宿泊を目指すために、舎生の実態に応じて「間食まで」「夕食まで」「週1泊から」と段階的な利用も可能です。
- 宿泊曜日：原則、固定とします。

【寄宿舍を利用できない日】

- ◆ 土日祝日 およびその前日
- ◆ 学校を欠席した日
- ◆ 長期休業など学校がお休みの日
- ◆ もともと寄宿舍の利用予定ではない日
- ◆ 体調不良で学校を早退した日

※ 宿泊した翌日は、寄宿舍から学校に登校することを基本としています。
通院等の予定があり、寄宿舍から学校に登校しない場合は、その前日は宿泊できません。その際のお迎えの時間に関しては、相談ください。

経費について(R7年度)

- 毎月（年10回）、以下の費用が加算されて口座引落としとなります。

（年度によって若干金額が異なる場合があります。）

	舎食費	間食費	寄宿舍費	寝具費
小学部	13,000 ※1			
中学部		2,800 ※2	1,500	1,800 ※3
高等部	14,000 ※1			

※1 週2泊相当(週4食まで)の利用の場合は、それぞれ半額（小学部 6,500円、中高等部 7,000円）になります。

※2 週2泊相当（週2回まで）の利用の場合は、半額の1,400円です。

※3 寝具費は寝具リースを利用の方のみ該当

- 欠席した場合の返金について

- ・間食費、舎食費は、届出日を含んだ3日後から、5日以上連続する場合に返金します。
- ・寄宿舍費、寝具費は、1か月全て利用がなかった場合に返金します。

舎生の持ち物について

- 寄宿舍の生活に必要な物について、個人で使用する物は、家庭で用意をお願いします。
- 余暇時間などで使用するゲーム機などの電子機器や貴重品類を持参する場合は、使用できる時間帯以外は、寄宿舍の職員に預けてもらいます。
- 持ち物には、必ず記名をしてください。

※詳細は、入舎が決定した際に、別紙にてお知らせします。

処方薬の準備について

- 処方薬（内服薬・塗布薬等）がある場合は、1回で使用する薬をひとまとめにして名前を書き、帰省時までの分量を寄宿舍へ持参してください。
- 内服薬については、災害時用薬として3日分を寄宿舍に預けてください。
- 市販薬については、預かっていません。

※詳細は、入舎が決定した際に、別紙にてお知らせします。

保護者の送迎について

- 帰舎日・帰省日の送迎は、学校の登下校時刻に合わせるようお願いします。
- 寄宿舍に来舎の際は、外来者ファイルの記帳とネームホルダーの着用をお願いします。
- 寄宿舍周辺の駐車場に車を止める際は、エンジンを止めて、ドアをロックしてください。
- 学校で単独通学の手続きが済んでいる舎生は、単独での帰舎・帰省も可能です。
- 学校や寄宿舍から保護者の送迎で通院や外出をした際は、18時までに寄宿舍へ戻ってください。18時までに寄宿舍に戻る事が難しい場合は、翌朝、家庭からの登校をお願いします。

このパンフレットは
QRコードから見るができます



新潟県立村上特別支援学校 寄宿舍

〒958-0853 新潟県村上市山居町2丁目16番29号
TEL 0254-52-1633 (寄宿舍)
0254-53-1415 (教務室)
FAX 0254-53-6769